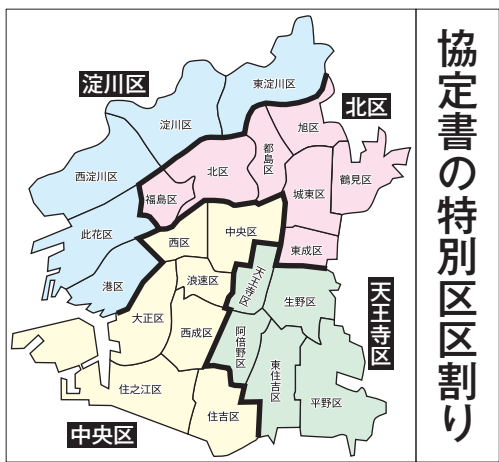


〳住民サービス継続〳は大ウソ

大阪市廃止の都構想

大阪市を廃止して4つの「特別区」に分割する、いわゆる「大阪都」構想を巡り、推進派の大阪維新の会は「今の住民サービスは継続・拡充していきます」「維新プレス」号外などと宣伝しています。ところが「特別区」は黒字になる、という財政シミュレーションには、「特別区」が設置されれば、現在24行政区に1カ所ずつある市民プール温水プールを9カ所に減らすなど、身近な市民利用施設を大幅削減(約17億円)すると明記。事実を知った利用者からは怒りや不安の声が上がっています。



利用者から不安と怒り

市民プールが24↓9に激減

よくする会・此花連絡会の集会で施設の大幅削減について説明する瀬戸氏(左奥) 11日、大阪市此花区内

大阪市を守り プールを守る

大阪市をよくする会・此花連絡会は13日、平松邦夫元大阪市長を迎えて此花区内で「大阪市をなくさん」として大集合！を開きました。日本共産党の瀬戸一正元大阪市長は報告で、財政シミュレーションでは、市民プールはじめ市民利用施設の大幅削減が前提になっていると指摘し、「サービス維持どころか、減らすことが前提だ」と強調。「真実を知らせれば、住民投票で必ず反対多数になれる」と力を込めました。

市民利用施設	削減数	削減額
温水プール	24→9カ所	12億1600万円
スポーツセンター	24→18カ所	1億9000万円
老人福祉センター	26→18カ所	1億6500万円
子育てプラザ	24→18カ所	1億2800万円
合計		16億9900万円

各区にプール〳誇らしいことなのに〳

まるでだまし 討ちのやり方

市民利用施設の削減額のうち、約7割(12億1600万円)を占めるのが市民プールの削減。『サービス維持』とか言いながら、これは「だまし討ち」ではありませんか」と言うのは、大阪市西区の小玉有利子さん(45)。8月に夫(44)、長女(6)、長男(4)の4人で市民プールを初めて利用しました。西区にも西屋内プールがありますが、自

年間延べ24万人の 利用が

年間利用者数(18年度)は24万所の合計で、延べ約247万7千人。個人利用以外にも水泳教室なども開かれています。真田山プール(天王寺区)など5カ所には、屋外プールも併設されています。

水泳教室のほ かりハビリも

大阪市住之江区に住む40代の夫妻は、長男(11)と長女(8)、次男(5)を、それぞれ4〜5歳から住之江屋

内プールの水泳教室に通わせてきました。「教室の友達とも仲良く楽しく通え、スタッフの対応も親切で安心でした」と夫。妻は「市民プールをこ

つえを突いて集会に参加した女性(71)は、此花屋内プールを利用してきました。「掛かり付けの整形外科の先生からプールで歩くように、健康やりハビリのためにプールを利用する人がこれから多いはず。大阪市を守って、プールも残したい」と話しました。

